



2013年8月30日

報道関係各位

国連グローバル・コンパクトやジャパン・ネットワークの話題を順次発行

～持続可能な世界実現のためのお役立ちシリーズ第1弾～

「サプライチェーンにおける望ましいCSR活動のあり方」を発行

グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク会員の日本企業25社による共同執筆

一般社団法人グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク(以下 GC-JN 代表理事 有馬利男)では、加入会員による分科会の研究活動成果をシリーズ化して8月30日、発行いたします。第1弾は「サプライチェーンにおける望ましいCSR活動のあり方」と銘打って、CSR調達における諸課題について、グローバルに通用する提言書を上梓いたします。同書の内容につきましては、GC-JN 主催/共催のシンポジウム・セミナーイベント、あるいは健全なサプライチェーンの構築に関心のあるアカデミア・団体のイベントへの参加を通じて伝えてまいります。また国連グローバル・コンパクト(以下国連 GC)や GC-JN の活動に関連する話題につきましても、今後、「持続可能な世界実現のためのお役立ちシリーズ」として、順次発行する予定です。

国連 GC は世界経済のグローバル化に起因するさまざまな社会課題を解決するためには、企業と国連とが協働して取り組むべきであるとする、前国連事務総長コフィー・アナン氏の提唱により2000年に創設された、世界的なイニシアチブ(取り組み)です。現在世界130か国で1万1千の企業や団体が賛同を表明し、人権・労働・環境・腐敗防止の4分野10原則の取り組みを実践しています。

GC-JN は国連 GC の考え方に賛同する約180の企業・団体によって構成されている日本のローカルネットワークであり、2003年に発足した前身から数えて、今年で活動10周年を迎えます。GC10原則に関するシンポジウム・セミナー・会員による分科会(ワークショップ/勉強会)などを企画・運営しています。

今回の提言書は、このうち「サプライチェーン分科会」の過去数年間の研究をまとめたものです。今日企業活動がサプライチェーンに及ぼす影響は強大であり、CSR視点からの取り組みやCSR要件の組み込みが要請されています。今回は特に影響の大きい調達/購買プロセスにおいて、会員25社の実践から得られた知見をもとに、グローバル調達において、サプライヤー・バイヤー・社会がトリプルウィンを得るための実際的な提言を行っています。CSR調達の重要性が語られることは多いですが、実践する企業自身が率直に実情の分析を行い、実務上有効な手法の提言を行っているという点で、ユニークかつ広く企業一般が活用できる内容となっています。

GC-JN では分科会活動や様々なイベントを通して、日本や世界の持続可能な開発について、研究・提言してまいります。国連 GC と GC-JN の活動にご注目ください。

以上

本件のお問い合わせは・・・ (社)グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク事務局
事務局長:名取 俊英 事務局: 大野 好美
電話番号:03-5412-7235 メールアドレス:gcjnoffice@ungcjin.net
〒106-0032 東京都港区六本木 6-15-21 ハークス六本木ビル

添付資料 1 枚: 今回の発行物の概要、国連グローバル・コンパクト概要、GC-JN 概要



「サプライチェーンにおける望ましい CSR 活動のあり方」概要

1. タイトル シリーズ名: 持続可能な世界実現のためのお役立ちシリーズ
タイトル: サプライチェーンにおける望ましい CSR 活動のあり方
サブタイトル: - サプライチェーン分科会からの提案 -
2. 著 者 一般社団法人グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク
サプライチェーン分科会(2011年度 25社)
3. 発行日 2013年8月30日
4. 発行形態 GC-JN ウェブサイト (<http://www.ungcjin.org/>) でのダウンロード
または GC-JN 主催/共催のシンポジウム・セミナー等で配布予定
5. 頒布価格 非売品
6. 主な内容 CSR 調達概略、取引先説明会のあるべき姿、SAQ(自己チェックシート)のあるべき姿、監査のあるべき姿、トリプルウインの CSR 調達のポイントおよびグッド・プラクティス
7. 問い合わせ先 グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク事務局
03-5412-7235 gcnoffice@ungcjin.net

国連グローバル・コンパクト概要

1. 発 足 2000年
2. 国連内の位置づけ 事務総長直下の組織
3. 署名者数 世界130か国以上の1万1000強の企業・団体(2013年8月現在)
4. 組織と活動 1999年のダボス会議において、アナン前国連事務総長が提唱し、翌年発足。現代国際社会の抱える諸課題を解決するために、9原則(2003年に追加され現在は10原則)を掲げ、企業を中心とする署名者がこの実現に取り組むことで、持続可能な成長を実現させていこうという仕組み。国連と企業とが連携する点がユニーク。
付随するワーキング・グループ、イニシアチブを組織し提言や協働の促進を行っている。

グローバル・コンパクト10原則

- | 人権 | 環境 |
|---------------------|----------------------|
| 1. 人権保障の支持と尊重 | 7. 環境問題の予防的アプローチ |
| 2. 人権侵害への非加担 | 8. 環境に対する責任のイニシアチブ |
| 労働 | 9. 環境にやさしい技術の開発と普及 |
| 3. 組合結成と団体交渉権の承認の支持 | 腐敗防止 |
| 4. 強制労働の排除 | 10. 強要・賄賂等の腐敗防止の取り組み |
| 5. 児童労働の実効的な排除 | |

一般社団法人グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク概要

1. 設 立 2011年10月(前身である任意団体としては2003年発足)
2. 代表理事 有馬利男(富士ゼロックス イグゼクティブアドバイザー)
3. 所在地 東京都港区六本木
4. 会員数 176企業・団体(大学・自治体・NPO/NGO 法人)(2013年8月30日現在)
5. 組織と活動 国連グローバル・コンパクトに署名・参加した日本の企業・団体によりローカルネットワーク(=国別支部)として組織された。
国連GC10原則に関連したテーマを研究する10余りの分科会(勉強会)やシンポジウム・セミナー等を主催・共催し、10原則の社内外への浸透を図っている。